

## メリット見えにくい

東海大の大久保彩子准教授の話 日本  
のIWC脱退は組織への不満を表明  
する意味が強い。国際的な批判は避け  
られず、日本としては厳しい立場が続  
く。脱退のメリットは見いだしにくい。  
採算が取れず反捕鯨国の反発を招きや  
すい南極海での捕鯨をやめるのは現実  
的だが、10年前に選択していたら日本  
沿岸での商業捕鯨はIWCで認められ  
ていた可能性があった。判断が遅すぎ  
た。たとえ商業捕鯨を再開しても、現  
在の南極海での調査捕鯨分がなくなる  
ことで全体の捕獲頭数は減るだろう。

## 保全努力 進める必要

イルカ&クジラ・アクション・ネッ  
トワーク（本部・東京）の倉沢七生事  
務局長のコメント 日本が国際的な  
（交渉を続ける）努力をやめて、脱退  
するのは大変残念に思う。交渉力を発  
揮して、真正面から問題解決を進める  
のが成熟した国家のあり方なのではな  
いか。国際社会の一員として日本の所  
有物ではない野生動物の捕殺に関し、  
国際交渉の場から離れ商業捕鯨を再開  
することに強く反対する。クジラなど  
の海洋生物に関して、もっとわれわれ  
が関心を持ち、保全努力を進める必要  
がある。